

## 病床機能再編支援事業費補助金の概要

### 1 趣旨

令和2年度より厚生労働省が地域医療構想の実現を図る観点から、一般病床又は療養病床を有する病院又は診療所が行う病床数の適正化に必要な病床削減に対して、補助金を交付する財政支援制度を創設した。

令和3年度から、財源が国庫補助から地域医療介護総合確保基金へ変更となった。  
(補助率 10/10)

### 2 事業概要

区分	内容
支給対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度病床機能報告において、平成30年7月1日時点の病棟の機能について、高度急性期機能、急性期機能及び慢性期機能（以下「対象3区分」という。）のいずれかの医療機能を選択した病棟の稼働病床数を1床以上報告し、令和2年度以降に対象3区分のいずれかの病床の削減を行う病院及び診療所の開設者又は開設者であったもの。</li> </ul>
支給要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療構想調整会議の議論の内容及び医療審議会の意見を踏まえ、県が地域医療構想の実現に資すると認めたもの。</li> <li>病床削減後の対象3区分の許可病床数が、平成30年度病床機能報告時における稼働病床数の90%以下であること。</li> </ul>
算定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度病床機能報告において報告された稼働病床数又は令和2年4月1日時点の稼働病床数のいずれか少ない方から一日平均実働病床数までの間の削減について、病床稼働率に応じ、削減病床1床あたりの額を支給。</li> <li>一日平均実働病床数以下まで削減する場合は、2,280千円/床を支給。</li> <li>回復期機能及び介護医療院への転換病床数は除く。</li> <li>過去に本事業の支給対象となった病床数は除く。</li> <li>同一開設者の医療機関への融通病床数は除く。</li> </ul>

### 3 交付単価

病床稼働率	削減1床あたり単価	病床稼働率	削減1床あたり単価
50%未満	1,140千円	70%以上 80%未満	1,824千円
50%以上 60%未満	1,368千円	80%以上 90%未満	2,052千円
60%以上 70%未満	1,596千円	90%以上	2,280千円

### 4 スケジュール

区分	内容
～7月	地域医療構想調整会議にて協議
7月12日(水)	医療対策協議会にて報告
8月30日(水)	医療審議会にて報告
1月～	国の交付決定があり次第、補助金交付



病床機能再編支援補助金 病床削減計画

医療機関名：社会福祉法人黎明会

熱海ゆとりあの郷診療所

開設者：理事長 佐々木典夫

所在地：静岡県熱海市西熱海町 1-24-1

1 概要

(1) 削減病床数（稼働病床数→許可病床数）

17床 → 0床（▲17床、▲100%）

(2) 見直し前

許可病床数 ※1	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		17					17
※1	病床機能別	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計※2
					17		17
診療科目	内科						

※1 平成30年度病床機能報告で報告した病床数と令和2年4月1日時点の病床数のいずれか少ない方を記載

※2 一般・療養病床の合計数と一致すること

(3) 病床見直しの内容

稼働病床数 ① ※3	病床種別	一般	療養				計
		17					17
① ※3	病床機能別	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計
					17		17
削減病床数 ②	病床種別	一般	療養				計
		17					17
②	病床機能別	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計
					17		17
見直し後の 許可病床数 (①-②)	病床種別	一般	療養				計
		0					0
(①-②)	病床機能別	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		計
					0		0
診療科目	内科						

※3 平成30年度病床機能報告で報告した病床数と令和2年4月1日時点の病床数のいずれか少ない方を記載

(4) 変更日（見込み）

令和5年4月1日

2 病床数の見直しの必要性等について

【見直しを検討した経緯（削減病床数の考え方を含む）】

- ・熱海市の65歳以上の高齢化率（令和2年時点）は47.9%（全国平均28%）と非常に高いが、人口の減少と共に医療介護の需要予測は2020年以降下降している。（日本医師会 JAMP）
- ・また、令和4年11月現在の熱海市での人口10万人あたりの一般診療所病床数は73床（全国平均63床）、病院病床数は2,116床（全国平均1,182床）と全国平均に比べ高く特に病院病床数は倍近い。人口10万人あたりの医師の数も403人（全国平均253人）と多く医療供給量は多いといえる。（日本医師会 JMAP）
- ・そのことにより当院は地域医療における当院の果たす役割と貢献を検討してきた。
- ・令和3年病床機能報告に拠ると、熱海伊東圏域における慢性期機能は、291床と「2025年の病床の必要数」235床と比較して、56床過剰である。地域における診療所病床の必要性は少なく当院の立地条件は高齢者にとって利用が不便である事もあり地域貢献度は今後も低いと考えた。
- ・当院ではH30年度延べ入院患者数2772名、令和2年度延べ入院患者数2738名と入院患者数の変化はなく病床は44%の稼働に留まっており提携病院3か所との連携により病床を縮減し医療機能を集約化していく事が地域にとって必要だと考えた。

【その他】

- ・削減を実施する前に近隣病院3か所（熱海所記念病院、南熱海第一病院、熱海海の見える病院）と提携を結び対応を行なう事としている為問題ないと判断した。
- ・外来機能を継続するため月曜日～金曜日は医師の24時間体制を敷いており近隣病院との連携がスムーズに行なうことが出来る。